

# 建築と社會 高層建築

第十五輯第一號

昭和七年一月發行

## — 目 次 —

卷頭挿畫 「ボロニア」歐洲旅行スケッチ帖の一葉	竹腰健造 (一)
昭和七年を迎へて	片岡安 (三)
昭和七年の日本建築界豫想と對時局感	古宇田實 (四)
昭和六年の建築界を顧みて	黒田鵬心 (七)
近代建築形態の趨勢	武田五一 (一〇)
高層建築時代	片岡安 (二五)
經濟的觀察を主としたる將來の高層建築	村山長舉 (二九)
高層建築は何處まで伸びる	田邊平學 (三三)
都會の事業化と高層建築	土田杏村 (三六)
岐阜提燈から魂なき高層建築へ	藤田進一郎 (三七)
社會現象として見る高層建築	神近市子 (四〇)
ニューヨーク市及びシアトル市の地域條令に於ける	内藤亮一 (四二)
建築物の高さ制限規定	加藤善吉 (四九)
地域制と高層建築	小笠原 鈞 (五二)
ビルディングの基礎工事其他にニウマチツクケーション	吉田信武 (五五)
建築物の高さの制限に就いて	
「建築と社會」表紙佳作入選圖案發表	本野精吾 (六一)
表紙圖案審査評	春山武松 (六一)
表紙應募感想	瀧澤真弓 (六二)
建築構造材料としての鑄鋼品に就いて	宇賀一郎 (六四)
銲接接合部の計算及び諸實例	池田宮彦 (六五)
國際新建築集	鶴田明 (七三)
京阪神新建築集	